

あこがれの花を庭の木に

神戸大学大学院 理学研究科 樋渡 琢真

私は植物が好きである。虫を食べる植物やキラキラと光る葉っぱ、すごく変なおいを出す花、例を挙げるときりがない。そのような様々な植物をせっせと買い集め、日々植物を愛でながら生活をしている。おかげで私の住むワンルームの部屋には温室ができあがり、私の生活スペースを圧迫している。最近の悩みは、お花屋さんで手に入れた新しい植物をどこに置くかである。どうやらスペースがないから買わないでおこう、とはならないらしい。お花屋さんに行くと、たいてい一つは魅力的な植物をお迎えしてしまう。このままのペースでいくと、だいたい一か月に一回は花屋に行くので、一年で12鉢、30年後には360鉢の植物たちと生活しなくてはならない。さらに恐ろしいことに、植物は育てると大きくなり、そして増殖していくのである。もはや一般家庭の庭では収まらない量になっているだろう。

この植物増加問題の解決策は2つある。1つ目は広大な土地を購入することである。しかし、植物を新しく迎えるためのお金を使ってしまえば本末転倒というものだろう。そこで役に立つのがこの商品！

「庭に生えている木の枝にこのクリームを塗るとあら不思議！全く別の植物が生えてくる！」

生やしたい植物の粉末を混ぜた特別なクリームを庭の木に塗ると、そこから目的の植物が生えてくるといふ薬品が開発されています。このクリームを塗れば、サクラの木からヒマワリの花を咲かすことが可能となります。これであなたの家の庭に自分だけの植物園を作ってみませんか？日本の庭に熱帯のきらびやかな植物や凜とそびえ立つ高山植物をはやしてみよう！

という様な魔法の薬品が30年後には開発されていて欲しいと思います。私の生活スペースを守るために。